

## RFIDの要件の緩和について

### (1) 利用周波数帯の拡大

950MHz帯から920MHz帯の移行にあたり、スマートメータ等に活用が予定されるアクティブ系システムを中心に、**利用可能な周波数帯を拡大**

現行:950-958MHz(8MHz幅) → **移行後:915-930MHz(15MHz幅)**

### (2) 出力上限の緩和、免許不要化等

ア. パッシブ系 : 現在簡易無線局の**250mW局を免許等不要化**(特定小電力無線局に変更)

イ. アクティブ系:長距離伝送のニーズ等を考慮して、**250mW局をアクティブにも導入**

欧州での検討状況も踏まえ、**20mW局(特定小電力)を導入**(従来は10mW)

リモコン等での活用も期待される**1mW局用チャンネルを大幅増**

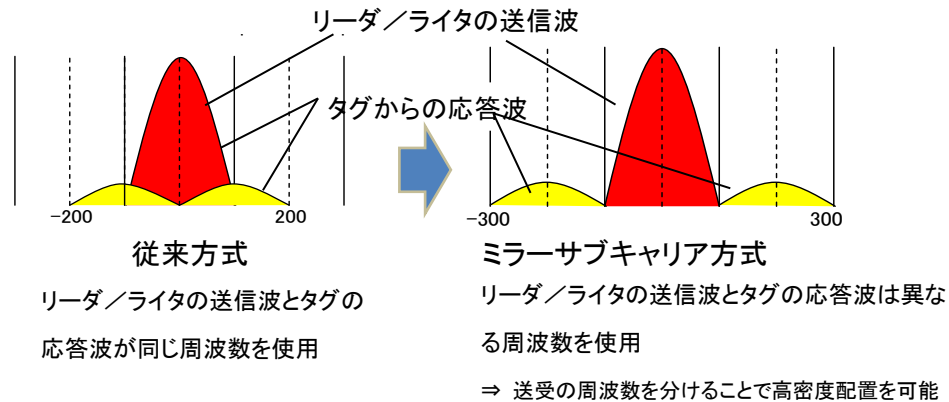
	出力	旧バンド(950MHz帯)				新バンド(920MHz帯)			備考
		局種	免許等の種別	周波数		局種	免許等の種別	周波数	
パッシブ	高出力 1W	構内	免許登録	952~ 956.4MHz	→	構内	免許登録	916.7~ 920.9MHz	ミラーサブキャリア方式採用タグの読取速度向上
	中出力 250mW	簡易	登録	952~ 956.4MHz	→	特小	免許等不要	916.7~ 923.5MHz	局種変更 簡易無線局(登録局) → 特定小電力
	低出力 10mW	特小	免許等不要	952~ 957.6MHz	→				
アクティブ	250mW	-	-	-		簡易	登録	920.5~ 923.5MHz	新設
	20mW	-	-	-					
	10mW	特小	免許等不要	954~ 957.6MHz	→	特小	免許等不要	920.5~ 928.1MHz	新設(出力アップ) (10mW →20mW)
	1mW	特小	免許等不要	950.8~ 957.6MHz	→	特小	免許等不要	915.9~ 929.7MHz	チャンネル拡張

## RFIDの要件の緩和について

### (3) 高出力型パッシブタグシステムの高密度設置、高速通信の実現

配送センター等において、多数の高出力型リーダー/ライターをゲート状に並べて、検品作業等を高速処理するニーズが増加

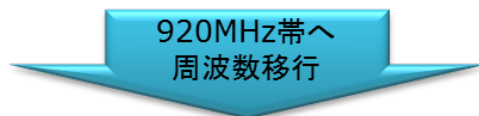
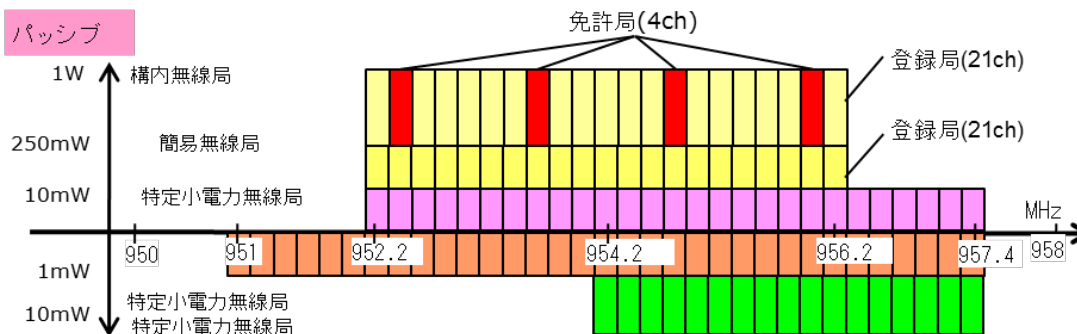
- **高密度配置が可能**で、周波数利用効率に優れた**ミラーサブキャリア方式**を採用
- タグ応答波の受信帯域を十分確保することで**高速通信を実現(90 kbps → 270 kbps)**



# RFIDの要件の緩和について

## (4) 920MHz帯の具体的な周波数の割当

### 950MHz帯(950~958MHz) 旧チャンネルプラン



### 920MHz帯(915~930MHz) 新チャンネルプラン

